

第 32 回定例総会議案

(議長 尾形芳秀)

第 1 号議案 2018 年度(2017.9-2018.8)活動報告について(小林暁子)

- 1.《第 31 回定例総会・創立 30 周年祝賀会》、ニューオオタニイン札幌、2017 年 10 月 21 日(土)11:00～14:00、参加者:総会約 20 人、祝賀会 日本人 30 人、ポーランド人&家族 29 人
- 2.《創立三十周年記念演奏会》、札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール、2018 年 6 月 23 日(土)17:00～20:00、協賛:ポーランド広報文化センター、ポーランド独立回復 100 周年記念事業、道銀芸術文化助成事業、後援:駐日ポーランド大使館、入場者 300 人超
- 3.例会
 - (1)《第 82 回例会》コルチャック先生:講演と映画の集い、講演:コルチャック先生の思想と生涯～子どもをいかに愛するか:塚本智宏、映画『コルチャック先生』1990 アンジェイ・ワイダ監督、札幌エルプラザ 4F 大研修室、2018 年 3 月 24 日(土)13:30～16:50、参加者約 60 人
(パネル展示)コルチャック先生の思想と生涯、札幌エルプラザ 2F 交流広場、3 月 16 日(金)～24 日(土)、共催:ポーランド広報文化センター
 - (2)《第 83 回例会》朗読とお茶の会:午後のポエジア 8、ドラマシアターども、2018 年 5 月 26 日(土)14:00～17:00 第 1 部:朗読/もう一人の宮沢賢治～風と光にのって/詩と音楽と映像で紡ぐ世界、第 2 部:交流の広場/朗読・音楽、ポーランドの詩と音楽～ズビグニェフ・ヘルベルト年 2018、共催:ポーランド広報文化センター、ポーランド独立回復 100 周年記念事業、参加者約 60 人
 - (3)《第 84 回例会》ポーランド名画ビデオ鑑賞会、札幌エルプラザ 4F 中研修室、2018 年 7 月 21 日(土)13:30～16:20『影』1956 イェジー・カヴァレロヴィチ監督、『パサジェルカ』1963 アンジェイ・ムンク監督、参加者約 30 人
 - (4)《第 85 回例会》ブロニスワフ・ピウスツキ没後百年記念講演と映画と朗読の集い～ポーランド、サハリン、北海道～、北大学術交流会館小講堂、2018 年 7 月 29 日(日)、第 1 部 13:30～講演(司会:越野剛)井上絃一:ブロニスワフ・ピウスツキの生涯と仕事、佐々木史郎:ピウスツキが収集したアイヌ文化、新井藤子:ピウスツキが日本に残したイメージ～明治から現在まで～、第 2 部 15:40～ドキュメンタリー映画『ピウスツキ・ブロニスワフ～流刑囚、民族学者、英雄 Piłsudski Bronisław - zesłaniec, etnograf, bohater』2016 ヴァルデマル・チェホフ
- スキ監督(日本語字幕付き)、第 3 部 16:45～18:30 朗読(司会:熊谷敬子)長屋のり子/自作詩/盲いたチュフサンマの絶唱、白井順/花崎皋平作/チュサンマとピウスツキとトミの物語より、酒谷茂靖/土橋芳美作/痛みのペンリウクより&ペンリウク バフンケ 26 時のペウタンケ、共催:北大スラブ・ユーラシア研究センター、ポーランド広報文化センター、ポーランド独立回復 100 周年記念事業、後援:駐日ポーランド大使館、参加者約 150 人
- (5)《第 86 回例会》マルタン・グレゴリウス北大オルガンを奏でる～ポーランドオルガン音楽の 500 年、北大クラーク会館講堂、2018 年 8 月 10 日(金)18:00～19:00 のち交流会、協賛:ポーランド広報文化センター、参加者 300 人超
- 4.会誌 POLE No.92 (2017.9.1)、No.93 (2018.1.25)、No.94 (4.10)発行
- 5.運営委員会:2018 年度(1)2017.10.2、(2)12.11、(3)2018.2.19、(4)4.17、(5)7.10
- 6.共催・後援・協力事業
 - (1)〈後援〉第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニスト マルタン・グレゴリウス(ポーランド出身)デビューリサイタル、*Kitara* 大ホール、2017 年 10 月 7 日(土)14:00～15:30
 - (2)〈後援〉徳田貴子ピアノリサイタル、ザ・ルーテルホール、2017 年 11 月 20 日(月)19:00～
 - (3)〈後援〉札幌コンサートホール開館 20 周年記念・オルガンガラコンサート、出演:マルタン・グレゴリウスほか、*Kitara* 大ホール、2017 年 12 月 9 日(土)15:00～
 - (4)〈共催〉さっぽろ雪まつり第 45 回国際雪像コンクール参加の Team Snow Art Poland (代表:カトヴィツェ美術大学 ASP Katowice 講師で彫刻家のコツランガ氏)を支援、大通会場 11 丁目国際広場、2018 年 2 月 4 日(日)～8 日(木)、共催:駐日ポーランド大使館
 - (5)〈後援〉NPO 法人まざるか北海道・第 7 回東日本大震災被災者支援コンサート:私たちは忘れない! 光塩学園 koen 天秘ホール、2018 年 3 月 10 日(土)14:46～
 - (6)〈後援〉ポーランド映画祭 2018 in 札幌、札幌プラザ 2・5、2018 年 4 月 21 日(土)11:30～18:05『二つの冠』2017 ミハウ・コンドラト監督、『最後の家族』2016 ヤン・P・マトゥシンスキ監督、『早春』デジタル・リマスター版 1970 イェジー・スコリモフスキ監督、主催:ポーランド広報文化センター、入場者 300 人超
 - (7)〈協力〉ブロニスワフ・ピウスツキ百年忌追悼式、

2018年5月17日(木:命日)13:30～白老・旧アイヌ民族博物館内で、アイヌ式で祈りピウスツキ像前で舞踊を奉納

(8)〈後援〉北大祭 2018 ポーランド料理テント Polski Namiot、北大総合博物館前、2018年6月1日(金)～3日(日)、主催:北大ポーランド人留学生会、協賛:ポーランド広報文化センター、ポーランド独立回復100周年記念事業

(9)〈後援〉オルガンサマーナイトコンサート:マルタン・グレゴリウス、Kitara 大ホール、2018年6月9日(土)18:00～19:00

(10)〈後援〉Kitara のバースデイ:オルガン/マルタン・グレゴリウスほか、Kitara 大ホール、2018年7月1日(日)15:00～

7.(参考)会員動向(2018年度)入会6人、退会5人、会員数90人(2018.9.1現在)

第2号議案 2018年度収支決算報告および会計監査報告について(佐々木保子・野村信史)別紙参照

第3号議案 2019年度(2018.9-2019.8)役員等(案)について(安藤厚) **新任**

(会則第6条に基づく役員)

会長:安藤厚
 副会長:小笠原正明、霜田千代麿
 運営委員:新井藤子、安藤むつみ、氏間多伊子、熊谷敬子、越野剛、小林暁子、小林浩子、坂田朋優、佐々木保子、霜田英麿、園部真幸、高橋健一郎、塚本智宏、中島洋、松井亜樹、松山敏、水田香、ラファウ・ジェプカ、アグニェシュカ・ポヒワ

事務局長:小笠原正明
 監査委員:稲川和幸、野村信史
 (会則第15条に基づく事務局、会誌編集委員会)

事務局:(事務局長)小笠原正明、(会計)園部真幸、(広報)越野剛、(渉外)ラファウ・ジェプカ、(催物)氏間多伊子、(同)熊谷敬子

会誌編集委員会:熊谷敬子、越野剛、塚本智宏、松山敏、ラファウ・ジェプカ
 (会則第16条に基づく東京事務所)
 東京事務所:(所長)霜田英麿、(副所長)熊倉ハリーナ

第4号議案 2019年度活動計画について(小笠原正明)

1.《第32回定例総会&懇親会》、豊平館、2018年11月11日(日:ポーランド独立回復100周年記念日)16:00～総会1F下の広間、17:30～懇親会2F広間

2.例会
 (1)ポーランド名画ビデオ鑑賞会、2019年1-2月
 (2)講演会:プロニスワフ・ピウスツキ没後百年記念講演会/井上紘一、その他、2019年春以降
 (3)朗読会「午後のポエジア」9、2019年5月下旬
 (4)ヤドヴィガ・ロドヴィッチ元駐日大使夫妻講演会、2019年7月1日

3.会誌 POLE No.95 (2018.9.15)、No.96 (2019.1)、No.97 (2019.5)

4.オンライン広報の強化(Facebook、Twitter)

5.その他の後援・協力依頼には随時対応

第5号議案 2019年度予算(案)について(園部真幸)別紙参照

第6号議案 名誉会員の推挙について(安藤厚)
 長年、役員等として会の運営に貢献された、斎田道子さん、富山信夫さん、灰谷洋子さんを名誉会員に推挙します。(会則)「第12条 本会に名誉会員をおくことができる。名誉会員は運営委員会において推挙され、総会において承認される。名誉会員は会費を免除される。」

【出席会員25名、全議案承認。2018/11/11】

2019年度 会計予算書(自2018年9月1日～至2019年8月31日) (単:円)				参考
【収入の部】	前年度決算	予算	備考	2017決算
会費	238,500	240,000	3千円×80人	238,000
寄付金	98,037	40,000	(2018年度は特例)2017年度実績程度	47,000
雑収入	2	140,010	貯金利子、立替金入金2018.10.1	2
小計	336,539	420,010		285,002
前年度繰越金	376,077	153,552	2018.9実績	321,791
合計	712,616	573,562		606,793
【支出の部】				
事業費	173,333	100,000	総会・懇親会5万、例会4回	90,197
連絡費	106,016	85,000	ポレ発送等(2.5万×3号)、その他広報DM1万	71,206
編集費	31,432	45,000	ポレ印刷費等(1.5万×3号)	32,464
会合費	22,997	25,000	運営委員会他(5回)	22,137
事務費	75,664	20,000	用紙、文具、コピー他(前年度実績[ナード除く]程度)	10,090
雑費	9,622	5,000	HP経費(前年度実績程度)	4,622
予備費	140,000	293,562		0
小計	559,064	573,562		230,716
次年度繰越金	153,552	0		376,077
合計	712,616	573,562		606,793
演奏部会基金			備考	
前期繰越金	34,697	34,697		34,697
特別会計より繰入	0	37,070	記念演奏会(前年度)より入金2018.10.5	0
利息(北洋銀行)	0	0		0
合計	34,697	71,767		34,697

2018年度 収支決算書(自2017年9月1日～至2018年8月31日)

(単:円)

【収入の部】	予 算	決 算	備 考
会費	240,000	238,500	全額(3千円×90人)の88%
寄付金	60,000	98,037	
雑収入	30,010	2	貯金利子
小 計	330,010	336,539	
前期繰越金	376,077	376,077	ゆうちょ銀行
合 計	706,087	712,616	
【支出の部】			
事業費	230,000	173,333	30祝賀会15万、82例会コルチャック680、83例会ポエジア133、84例会名画鑑賞8千、85例会ピウスツキ1千、86例会マルタン1.3万
連絡費	70,000	106,016	郵送・はがき・切手・印字サービス
編集費	45,000	31,432	POLE92-94印刷
会合費	25,000	22,997	運営委員会5回
事務費	20,000	75,664	トナーカートリッジ4.7万、インクカートリッジ8千、用紙・封筒・メモリー・コピー
雑費	5,000	9,622	HP経費、花代(ピウスツキ百年忌)
予備費	311,087	140,000	助成金立替(20181001入金)
小 計	706,087	559,064	
次期繰越金	0	153,552	ゆうちょ銀行
合 計	706,087	712,616	
演奏部会基金	【収入の部】	【支出の部】	備 考
前期繰越金	34,697	0	
利息(北洋銀行)	0	0	
合 計	34,697	0	次年度へ繰越
特別会計			
1. 雪像チーム			
助成金	100,000	100,000	ポーランド大使館より(交通費・食費補助)
2. コルチャック講演会			
講演会経費		30,680	会場使用料1.2万、図書1.3万、車代5千他
一般会計より補助	680		
助成金	30,000		ポーランド広報文化センターより
3. ポエジア8			
ポエジア7経費		50,133	会場経費4.5万、ケーキ材料費3千円他
一般会計より補助	133		
助成金	50,000		ポーランド広報文化センターより
4. 北大祭テント			
助成金	80,000	80,000	ポーランド広報文化センターより(レンタル費用、テント登録費)
5. 記念演奏会			
演奏会経費		802,844	会場使用料36万、出演者交通費18万、ピアノ調律料6.6万他
演奏会基金へ繰入		37,070	次年度
チケット売上	714,914		
助成金・広告・寄付	75,000		道銀文化財団他より
助成金	50,000		ポーランド広報文化センターより
	839,914	839,914	
6. ピウスツキ記念行事 (予備費で立替)			
記念行事経費		110,676	出張旅費5.2万、講師等謝礼3.8万、印刷費1万、DVD制作費1万他
一般会計より補助	676		
助成金	110,000		ポーランド広報文化センターより入金2018.10.1
7. マルタン北大演奏会 (予備費で立替)			
助成金	30,000	30,000	演奏謝礼3万、ポーランド広報文化センターより入金2018.10.1

会計の監査にあたり、関係書類及び通帳を照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたのでここに報告します。

2018年11月5日 監査委員 齋田道子、野村信史

35